

【柱8】子どもと子育て家庭、障害者及び高齢者特有の課題

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値	
(1)子どもと子育て家庭特有の課題	●子育て支援活動の活性化に向け、子育て支援を担う人材の発掘や子育て関連団体のネットワーク化を進める。 ●子育て家庭が地域の中で安心して暮らせるよう、区民相互の助け合いによる子育て支援活動を促進する。	理由を問わない乳幼児の一時預かり (要事前申し込み)	さぎのみや・あいあいサポート	—	—	●実施回数:毎月原則第2火曜日、全11回(8月休み) ●実施場所:中野区若宮児童館2階地域活動室 ●参加人数:延預かり人数64人 延従事者数75人	—	
		乳幼児と保護者がのんびり過ごせる場の提供	すくすくクラブ	—	—	見守りスタッフに向けて懇談会(研修を兼ねる)を令和4年12月2日及び12月5日に実施。全スタッフ45名中両日にて30名参加。主催事務局6名。日頃の見守りの取り組み方と各人の感想質問を受けた。	—	
		乳幼児と保護者が集える場の提供	子育ての輪なかの	—	—	メイン事業である「なかママひろば」は1年間で延べ398組827名の参加があった。「ひろば内一時保育」「なかママEats」「幼稚園選び情報誌発行」など新たな取組もスタートし、支援の範囲を広げている。区や施設の職員さん等との関係を深めたり、子育て支援活動をしたい区民へノウハウ提供やコラボ企画開催も行った。	—	
		図書館や保育園などで読み聞かせや人形劇などの公演を実施	おはなしびっくり箱	—	—	区内保育園4か所にて年5回、児童館等乳幼児施設にて年11回、区内図書館にて年24回、区内キッズプラザにて年12回本の読み聞かせや人形劇の公演を行った。	—	
		子育て支援・世代間交流	こども食堂さくら	—	—	●実施回数:月1回 ●実施場所:若宮児童館 ●延参加人数:907人	—	
		(区からの受託事業) ○産後のお母さんの交流会(ウエルカム!!はじめてママ) ○妊婦さんクラス ○多胎児交流会 ○0歳赤ちゃん、あつまれ!(児童館交流会) ○総合防災訓練(南部・北部)講座 (独自事業) ○多胎児交流会 ○オンラインでテーマ毎の情報交換 ○抱っこひも体験会	東京都助産師会新宿中野杉並地区分会	—	—	(区からの受託事業) ●ウエルカム!!はじめてママ年36回 ●妊婦さんクラス年12回 ●多胎児交流会 年5回 ●0歳赤ちゃん、あつまれ!(児童館交流会)年8回 ●オンライン両親学級 年4回 ●総合防災訓練(南部・北部)講座 (独自事業) ●多胎児交流会 ●オンラインでテーマ毎の情報交換 年12回 ●オンライン母親学級 年12回 ●抱っこひも体験会 年16回	—	
		乳幼児ママの育児の悩みや思いを分かち合う会、子育てに役立つ講座等を毎月開催。その他に「子育て環境向上委員会」との共催で、公園に出向く子育て広場「おさんぽかふえドーナツ」を実施。	きんぎょの会	—	—	—	社会福祉協議会の在宅福祉助成金を申請。きんぎょの会は年間11回の子育て支援講座を実施。174名が参加。「おさんぽかふえドーナツ」は年間13回の子育て広場や親子イベントを実施。438名が参加。(資料別添)地域で孤立しがちな乳幼児親子の仲間づくりと子育ての後方支援を行なった。	—
		★地域の子育て支援施設の機能強化 ○児童館における子育て活動支援事業 ★子育て関連団体への支援の強化 ○育成団体支援事業	育成活動推進課	①子育て支援活動に参加した区民の割合	4.7%	3.1%	10%	

【柱8】子どもと子育て家庭、障害者及び高齢者特有の課題

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1)子どもと子育て家庭特有の課題	●子どもたちが、遊び、学び、体験ができる機会や場を充実するため、放課後等の子どもの居場所の整備を進める。	子どもの遊び・体験の場の確保 ○児童館等整備・運営 ○プレーパーク活動支援事業	育成活動推進課	②子育て応援とうきょうパス ポート協賛店舗数	73店舗	81店舗	150店舗
		放課後の児童の居場所の確保 ○キッズ・プラザ整備・運営 ○区立学童クラブ整備・運営 ○放課後子ども教室事業 乳幼児親子の居場所の確保 ○子育てひろば整備・運営	育成活動推進課				
	●子育て家庭にとって魅力的な施設や子育て家庭にやさしい店舗の充実を図る。	子育て家庭にやさしい店舗の充実 ○子育て関連店舗の登録促進、情報発信	子ども・教育政策課				
	●発達課題や障害のある子どもへの教育的ニーズに応じた指導を推進し、インクルーシブ教育のより一層の充実を図る。 ●適切な教育環境を選択できるよう、早期から保護者の理解を促進するとともに、関係機関との連携や専門的知見に基づく就学相談等の取組を推進する。	○関係機関との支援会議の実施 ○在籍児童生徒の保護者以外からも学校相談・心理相談の実施	東京都立中野特別支援学校				
(2)障害者特有の課題	●特別な配慮を必要とする子どもとその家庭の置かれている状況や特性に応じて、必要な支援が受けられるよう、一貫した相談支援体制の充実を図る。 ●発達課題や障害のある子どもとその家庭が地域で孤立することがないよう、発達障害等に関する区民の理解の促進や保護者同士がつながり、交流する機会の創出に向けた取組等を推進する。	重症心身障害の子を持つ親が、親・子どもに安心していきいきと生活できるよう情報交換や情報共有、要望の整理等	中野区重症心身障害児(者)を守る会	—	—	①インターネットを活用した活動 毎月の定例会、要望の整理、情報共有、会報のための連絡等 ②会報の発行 ③対面での会合(Zoom参加のハイブリッド) 学習会、懇談会、情報交換会等 参加延べ人数_85_人(会場44人、Zoom参加41人)	—

【柱8】子ども子育て家庭、障害者及び高齢者特有の課題

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(2)障害者特有の課題	<p>●障害者及び介護者の高齢化、障害の多様化・重度化など個々の置かれている状況や特性に応じて、切れ目なく必要な支援やサービスが受けられるよう相談支援体制の充実を図る。</p> <p>●重度障害者をはじめ障害者が地域で安心して暮らせるよう、関係機関との連携や人材育成を進めるとともに、障害者の地域生活への移行を支える基盤の整備を着実に進める。</p>	<p>中野区及び、その近隣区にお住いの障害者の方達へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームヘルプ事業</li> <li>○グループホーム事業</li> <li>○障害者自立支援事業</li> </ul>	<p>特定非営利活動法人ねこの手</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>①ホームヘルプ事業…アシストセンターねこの手を運営する。障害者総合支援法に基づきホームヘルパー派遣を実施し、また各区の地域生活支援事業実施要綱に基づき移動支援サービスを実施した。</p> <p>②グループホーム事業…グループホームにじいろを運営する。開設3年にあたり、R5年3月第三者評価結果報告書を受理 入居者の誕生日会などグループホーム近隣公園夜桜見学イベントを実施 R5年度も災害を想定して、避難場所へ避難訓練実施</p> <p>③障害者自立支援事業…障害者自立支援事業として、『障害者も楽しめるサロン活動事業』として、新型コロナウイルス感染予防の観点から対面でのイベントは取り止め、オンラインカフェ、音楽会は演奏した動画をネット配信するなどの活動を行った。講演・経験交流会については時期尚早と判断し、来年度に延期した。昨年度に引き続き、自立支援協議会などを通じて、中野区の障害者福祉政策へ提言を行った。</p>	<p>—</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○視覚障がい者を対象に、自立支援法下における同行援護、居宅介護サービスに加え、地域生活支援事業としての、代筆・代読支援サービスを提供。</li> <li>○音声版「声のなかの区報」「声のないせす」「声のなかの区議会だより」の作成。個人依頼の取扱説明書や書籍の音声版製作にも対応しています。</li> <li>○徒歩訓練、STT(サウンドテーブルテニス)体験会等</li> <li>○視覚に関するお困りごとの相談もお受けします。</li> </ul>	<p>特定非営利活動法人 中野区視覚障害者福祉協会</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同行援護、居宅介護、地域生活支援事業として、代筆・代読支援サービスを提供。登録ガイドヘルパー79名、登録利用者105名。</li> <li>●音声版「声のなかの区報」22回、「声のないせす」12回、「声のなかの区議会だより」4回、製作。個人依頼 8件。</li> <li>●宿泊徒歩訓練 10/16～17 参加者30名、日帰り徒歩訓練 3/3 参加者31名、STT体験会 13回 参加者延べ321名。</li> </ul>	<p>—</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害児・者の家族等が研修会、講演会、施設見学を実施。また、行事を開催し、会員間の親睦を深める。</li> <li>○区や関連団体と情報共有等を通して、親同士のつながりを持つ</li> </ul>	<p>中野区愛育会 中野区肢体不自由児(者)父母の会 中野区重症心身障害児(者)を守る会 たんぽぽ会 等</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中野区愛育会○</li> <li>●7月:お楽しみ会「音楽を楽しもう!」なかのZERO小ホールにて開催(84名参加)</li> <li>10月:行事・区民福祉講演会(30名参加)</li> <li>11月:バスハイクを実施(47名参加)</li> <li>書道講座を開催(13名参加)</li> <li>その他:交通機関警察への挨拶回りを実施(約42か所)</li> <li>会報誌を発行</li> <li>○中野区重症心身障害児(者)を守る会○</li> <li>●家族も含めた交流イベントの実施 参加延べ人数27人</li> </ul>	<p>—</p>

【柱8】子どもと子育て家庭、障害者及び高齢者特有の課題

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(2)障害者特有の課題	<p>●障害者及び介護者の高齢化、障害の多様化・重度化など個々の置かれている状況や特性に応じて、切れ目なく必要な支援やサービスが受けられるよう相談支援体制の充実を図る。</p> <p>●重度障害者をはじめ障害者が地域で安心して暮らせるよう、関係機関との連携や人材育成を進めるとともに、障害者の地域生活への移行を支える基盤の整備を着実に進める。</p>	<p>主に障害児(者)向けに、社会性を身につけることを目的とした空手道場の運営</p> <p>障害者向けのサービスの提供 ○訪問系・日中活動系・施設系サービス ○居住支援系・訓練系・就労系サービス ○障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)の提供</p>	<p>障害児の休日クラブ</p> <p>障害福祉サービス事業所</p>	—	—	<p>●毎月4回土曜日に空手稽古を実施 ●空手稽古後に1月はお楽しみ会、12月は忘年会(昇級お祝い会)を開催 ●延参加人数 196名</p> <p>●東京コロナー●施設利用者の重度化・高齢化は進んでおり、相談支援活動においては、よりきめの細かい支援が必要となっている。緊急一時支援や短期入所などのニーズも多く、加えて困難事例も多く、サービスを提供する受入側の問題も散見される。自立支援給付の見直しや人材確保や・人材育成が重要な課題になっていると受け止めている。 ●社会福祉法人中野あいきい会● ・介護者の高齢化によりキーパーソンが介護施設へ入居後にご本人の意思により一人暮らしを可能にするため、相談支援や日中活動系、訪問系の事業所と連携している。 ・介護人材育成のため、「知的障害者移動支援従業者養成研修事業」を実施している。 ・ひきこもりになっている障害者に対して、訪問看護の導入や移動支援を活用して外に出られるように支援を行った。 ・知的障害者の高齢化に伴う対応として、高齢化に特化した事業を創設した(通所 杉の子サロン)高齢者のプログラムを実施している。必要に応じて看護師による通院や介護事業所と連携を行っている。</p>	—
(3)高齢者特有の課題	<p>●高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、支援が必要な人に適切な医療や介護・生活支援サービスを提供するとともに、ライフスタイルや身体機能に応じて住まい方の選択ができる環境づくりを進める。</p>	<p>介護予防教室を実施し、運動機能低下の予防・社会参加の減少を食い止める</p> <p>支援を必要としている方の情報の共有や他団体との連携</p> <p>定期的な訪問を希望する高齢者や障がいのある方に対して、1ヶ月に1回定期的に訪問し、近況や健康状態の確認、相談事の受付や申請書類の取り次ぎ業務を行う</p>	<p>公益社団法人 東京都柔道整復師会中野支部</p> <p>中野区介護サービス事業所連絡会</p> <p>東京都住宅供給公社 新宿窓口センター</p>	<p>○介護予防体操終了後も運動継続の意思のある方の割合</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>50%</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>通所型Cの介護予防の体操教室を全48回行い参加者延べ200名弱。</p> <p>・施設系の事業所ではガイドブックを作成し各地域包括支援センターとの連携で広く配布できるよう設置した。 ・中野区社会福祉協議会との連携で「まちなかサロン」を運営し、高齢者の交流の場づくりと医療・介護の情報提供を行った。 2022年度実績 月2回実施 参加者 89人 ・1月に訪問看護部会主催のヘルパー向け研修会「訪問看護師から、利用者様の異変に気付いた時の対応」を開催した。また、訪問介護部会との交流会を開催し、日々のケアの悩みや情報共有を図る機会を設けた。また、地域の関係機関と連携し、支援体制の充実等を図り利用者の安心、信頼にむけた活動を進めた。 ・施設入所やショートステイの運営自体が、施設としての高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるための支援の一つであるが、加えて緊急ショートステイの受け入れを可能な限り行うことにより、高齢者本人やその家族にとって安心して住める地域の提供を実施した。</p> <p>「団体・区の今後の取組」欄に記載の業務を継続的にやっている。</p>	<p>70%</p> <p>—</p> <p>—</p>

【柱8】子どもと子育て家庭、障害者及び高齢者特有の課題

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(3)高齢者特有の課題	<p>●高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、支援が必要な人に適切な医療や介護・生活支援サービスを提供するとともに、ライフスタイルや身体機能に応じて住まい方の選択ができる環境づくりを進める。</p> <p>●介護が必要となる状態をできる限り防ぎ、健康的な生活を維持・向上し、生き生きと暮らしていくために、高齢者が身近な地域において、日頃から主体的に介護予防に取り組める環境づくりを進める。</p>	<p>★区民それぞれが望む在宅療養生活の実現</p> <p>○ACP(アドバンス・ケア・プランニング)普及啓発</p> <p>○在宅療養相談窓口</p> <p>○在宅療養推進事業</p>	地域包括ケア推進課	<p>①主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合</p>	43%	48%	55%
				<p>②「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合</p>	32.7%	36%	60%
		<p>○虚弱高齢者を孤立させないようサロン等へつなげる</p> <p>○居場所づくり・虚弱高齢者の生きがい対策としての役割検討(すこやか福祉センター、地域包括支援センターとの連携)</p>	中野区民生児童委員協議会	—	—	地区民生児童委員協議会が主催となって地域サロンを開催し、高齢者が孤立しないよう地域での居場所づくりに努めた。	—
	<p>○健康づくり・介護予防の拠点(居場所)としての友愛クラブ数(1町会・自治会1クラブの実現)の増加と魅力づくり(町会・自治会との連携)</p>		中野区友愛クラブ連合会	<p>①会員増員計画～仲間を増やそうキャンペーン～</p> <p>②地区連合会(以下、地区連)事業の活性化・魅力づくり</p> <p>③行政・町会連合会の支援のもと、区民活動センター機能とのリンク(1町会・自治会、1クラブの実現)</p>	—	<p>①「仲間を増やそうキャンペーン」は、友愛クラブの知名度が思いのほか低いことを認識するとともに、PR活動を重点課題としてリーフレットの作成とパネル展を中心に行った。リーフレットは、中野区町会連合会様に協力をお願いし、中野区の町会・自治会回覧ルートと掲示板を利用していただき、全家庭に友愛クラブのPRを行った。パネル展については、中野区本庁舎をはじめ、地区連単位への展開を目的に令和5年度全地域展開への手応えを実感した。</p> <p>②1町会1クラブの実現の前に、コロナ禍の影響もあって休会・休止クラブの出現ならびに会員の減少が顕著で、その歯止めを掛ける策を最優先とした。地区連会長会を定例的に行い情報交換を通して、現状把握と活性化・会員減少への諸作を健闘した。令和4年度地区連への助成制度の充実を図った。</p> <p>③従来の「会員増員部」と「地域活動推進部」をワンチームに統合し組織力を強化した。同時に、地区連の活性化の基盤づくりとして町会連合会と同じ15の区民活動センター割に改定、町会・自治会ならびに区民活センターとの関係強化を図った。</p>	—
	<p>★区民・団体が主体的に提供する介護予防の取組の促進</p> <p>○住民主体サービス支援事業</p> <p>○高齢者会館運営</p> <p>★介護予防に取り組む意識の啓発</p> <p>○介護予防推進事業</p>	介護・高齢者支援課 すこやか福祉センター	<p>②体操や軽運動など介護予防のための通いの場への参加状況</p>	18.9%	20.8%	25%	